



ハトダヨ
2025年
7月号

函館市中央図書館

館

市中央図書館

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500 URL <https://hakodate-lib.jp/>

ハ

ダ

ヨ

市中央図書館

だより

だより

第110号 令和7年7月1日 発行

図書館からのお知らせ

7月1日より第65回市民文芸の公募が始まります。
今の気持ちや出来事を自分の言葉で作品にしてみませんか？
たくさんのご応募をお待ちしております。
また、今年は函館市中央図書館開館20周年を記念して、市民文芸の表紙を飾る写真を一般公募することにしました。みなさん奮ってご応募ください！



募集します！

「第65回函館市民文芸」作品募集

募集期間：7月1日(火)～9月30日(火)

応募規定：函館市民

(函館市内に通勤・通学している方も可)

募集作品：随筆・小説・文芸評論・ノンフィクション・
詩・短歌・俳句・川柳



詳しくは館内のポスター・チラシ等をご覧ください

「第65回函館市民文芸」表紙写真コンテスト

募集期間：7月1日(火)～9月30日(火)

応募規定：函館市民

(函館市内に通勤・通学している方も可)

募集内容：「函館市民文芸の魅力」「四季に映える函館市中央図書館」「私の好きな函館の図書館」などのテーマに合う、函館市民文芸の表紙にふさわしい写真 (A4サイズ横)



開架展示のご案内

『夜・天体観測』の本』

6月28日(土)～7月24日(木)

暗いからこそ綺麗に見える夜空の星々、カッコいい夜行性の動物たち、静寂の中でみる楽しい夢など…。夜が楽しくなるような本を集めてみました。



開催しました！

第1回図書館講座

「読書介助犬プログラム」6月7日(土)

前年度好評だった読書介助犬プログラムが今年度も開催されました。

子どもたちは読書介助犬と一緒に、読み聞かせグループ花音さんによる絵本の読み聞かせを楽しみました。そのあとは、介助犬とふれあったり、持ってきた絵本を一生懸命読んであげたりしました。介助犬はそんな子どもたちを静かに、優しく見守っていました。

ご参加頂いた皆さん、どうもありがとうございました。



募集します！

第2回図書館講座

「一緒に図書館のリーフレット

つくってみよう！」

日時:8月4日(月)・5日(火)・8日(金)

各日14時から連続3回講座

講師:根本直樹氏

対象:中高生6名

申込:中央図書館窓口、または電話にて受付
(TEL:0138-35-5500)

募集開始:7月3日(木)9:30より

定員となり次第締切



開催します！

夏休みイベント「こわ〜いお話会」

日時:7月27日(日)

10:00~10:40 小学1~3年生程度 30名

10:50~11:30 小学4年生以上(大人も可) 30名



詳しくは館内のポスター・チラシをご覧ください

毎年恒例の「こわ〜いお話会」を今年も開催します！申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

スタッフのおすすめ本

「全国ローカルコンビニグルメ図鑑」

著者:加藤 弘倫

出版社:小学館 (2024年10月)

場所:A19~21他 請求記号:673.86カト

函館が誇るローカルコンビニ「ハセガワストア」、北海道民の馴染みが深いコンビニ「セイコーマート」、ハセガワストアの姉妹店であり道東を中心に展開する「タイエー」など、その地域に馴染みのあるコンビニは全国にあります。

この本では、そんなローカルコンビニのグルメの部分に注目している内容です。美味しいおにぎりやお弁当、麺・スイーツを知ってみるのは如何ですか。旅行に出る際、ちょっとした寄り道先になるかもしれません。



ぜひ、読んで
みて下さい！

「蛸足ノート」

編著:穂村 弘

出版社:中央公論新社 (2023年11月)

場所:A25~30他 請求記号:914.6ホム

「やっぱりいいなあ。」歌人・穂村弘さんのエッセイを読むたびに思います。じわじわとくる可笑しさがあるやみつきになります。奥さまがたびたび登場するのですが、おふたりの会話がおもしろくて、その場面を想像してニヤニヤしたり、ほんわかしたり。

短い文章なので、寝る前に読んで幸せな気分のまま眠りにつくことができます。特に好きな話は『可愛さのピークを保存する』『仔猫がやってきた』。

穂村ファンを増やすため、この場を借りておすすめします。(『読者との対話』を読んでください。)

図書館俳句ポスト受賞者

3月俳句ポストへ応募された中から選ばれた作品です。
おめでとうございます。お題は「春雨(はるさめ)」。

特選

春雨のなかのステップ九九唱え

水関清

佳作

ジグソーパズルの縁は完成夜半の春

小野寺礼子

入選

粥すすする音の重なる臍かな

松浦学

公園へ続く日留り福寿草

練合陽子

肩ふれて結婚しよか桜咲く

池田陽子

鳥帰る点と線とを描きつつ

中西芳之

予約 ランキング

今現在人気
の本は？

予約数の多かった本をご紹介します。
(令和7年6月15日現在)



1 『カフネ』

阿部 暁子／著

2 『架空犯』

東野 圭吾／著

3 『月とアマリリス』

町田 そのこ／著

4 『藍を継ぐ海』

伊与原 新／著

5 『クスノキの女神』

東野 圭吾／著

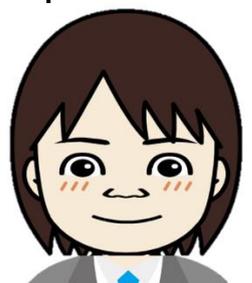
館長随想 (四十)

―道南の俳句― 2 アイヌ絵と俳句

北海道は江戸時代、毛皮などの取引をアイヌ、和人が行っていました。北海道は松前藩の直轄となり、交易を自由にできなくなったアイヌは不満をつのらせ、蜂起であるクナシリ・メナシの戦い(1789年)が起こります。松前藩は戦いを鎮圧、戦いに協力したアイヌの首長12人(御味方蝦夷)を松前道広の命を受け蠣崎波響が描き、京都で評判となったこの絵を光格天皇に献覧を仰ぎます。この絵は『夷酋列像』(いしゅうれつぞう)と呼ばれ、このときに描かれた一部を当館で所蔵しています。文人画家である蠣崎は京都で円山応挙に指示し影響を受け、松前応挙と呼ばれることもあります。

「江差の5月の賑わいは江戸にもない」江差はニシン漁が栄え、場所請負人は富を得て地域に多くの文化を築きました。福島屋・杉浦嘉七は4代まで襲名し、3代・杉浦嘉七は、公立内濶学校、印刷所北溟社を創設し函館新聞発刊、道内最初の銀行・第百十三国立銀行初代頭取と函館地域を支えてきました。引き継いで4代も同様に文化に大きく貢献し、「巴珍報」を発刊しています。「巴珍報」は、川柳などの投書を中心とした誰でもわかる発行物で(当時の「函館新聞」には女子供にもわかる、とあります)、編集は「函館新聞」の岡野敬胤が担当していました。月2回発刊で毎回1000部も売れ、由縁舎色香という雅号で杉浦嘉七の作品もあります。編集人の岡野は知十の名で俳人として活躍しました。巴珍報の挿絵画家は、アイヌ画家でもある平福穂庵です。

にわかに勉強して俳句のことを書いたところ、読んだ内容について来館される方からさらに教えていただく機会があり感謝しています。今号でお話はおしまいです。みなさんからまたたくさんのお話を教わり、新たに執筆できるように精進していきます。(館長・落合 仁子)



市民文芸

第65回 作品募集

令和7年7月1日(火)～9月30日(火)

募集部門

随筆 小説
文芸評論
ノンフィクション
詩 短歌
俳句 川柳

作品はメールや、チラシ裏面の【応募用紙】を使っても応募できます。
※チラシ掲載の応募規定を必ずご参照の上、ご応募ください。

主催:函館市中央図書館指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

TEL:0138-35-5500

